

柿木図書館等の更新に関するワークショップ第2回 意見一覧

グループワーク① “取組への期待”の整理

“取組への期待”の番号	意見	グループ
①誰にとっても使いやすい	高齢者や弱い立場にある方などに優しい場所にするために、駐輪場だけでなく駐車場の確保をしてほしい。	1
①誰にとっても使いやすい	コミュニティができていの中に急に入り込むのはなかなか敷居が高い。	1
①誰にとっても使いやすい	体験会で知ってもらう機会を設けるなど、各施設が存在や用途の認知度を上げる必要がある。	1
①誰にとっても使いやすい	どんな施設なのか、また何に使えるのかが、明確にわかる必要がある。	2
①誰にとっても使いやすい	施設の運営が、誰にとっても使いやすいことが大事だ。	2
①誰にとっても使いやすい	高齢者、子ども、家族連れ（子育て世代）、車いす利用者、LGBTの方にとっても使いやすいと良い。	3
①誰にとっても使いやすい	誰にとってもなのか？高齢者、子ども、男性、女性など対象を明確にする方が良いのではないか。	3
①誰にとっても使いやすい	いずれの施設でも利用者の目的を実現できるようなスペースと設備の充実と運用時間の確保をしてほしい。	5
①誰にとっても使いやすい	使いやすさを考えるときには、「誰」＝対象者を明確に考える必要がある。（高齢者、子どもたち、車いすの方、近所のママ、学生など）	6
①誰にとっても使いやすい ②地域の人が集い交流が生まれる	対象者を特定しすぎず、高齢者や子育て世代以外も含めた多様な世代、立場の人が参加できる場をつくる。	1
①誰にとっても使いやすい ②地域の人が集い交流が生まれる	若者や子どものいない世帯はターゲットにされにくいので、「誰にとっても」や「地域の人々」といったことを考える場合は注意が必要。	1
①誰にとっても使いやすい ②地域の人が集い交流が生まれる	意見や苦情がないから困っていない、悩んでいないとは限らない。	1
①誰にとっても使いやすい ②地域の人が集い交流が生まれる	区の施設は、一般の方の施設なのに入りづらく感じてしまう。個人がふらっと入るには入りづらく、さざんかネットの予約も必要なので利用しづらい。そのため、利用者も固定化されている。	1
②地域の人が集い交流が生まれる	地域のお祭りなどに地元生まれの若者は参加してくれているが、外から来た若者は興味がなく、祭りがあったとしても参加しない。	1
②地域の人が集い交流が生まれる	児童館など近隣施設の利用者との交流も図る必要がある。	2
②地域の人が集い交流が生まれる	集まりやすい場所づくりと、連携・交流できるスペースなどの仕組みは重要である。	3
②地域の人が集い交流が生まれる	現役世代・独身世帯でも垣根のない利用しやすい施設だとありがたい。	5
②地域の人が集い交流が生まれる	地域で新しく友人ができ、楽しい日々を送ることができている。	6
②地域の人が集い交流が生まれる	どの世代がどういう交流を望んでいるのか、交流を具体化した方がいい。単に同じ場所にいっても交流になるか疑問だ。交流は自然には生まれないので、季節ごとのイベントをするなど、仕掛けが必要だ。	6
②地域の人が集い交流が生まれる ④落ち着て過ごせる場所の創出	わいわい集まる場所と静かに落ち着ける場所のバランスが大切である。	3
③周辺環境との調和	各施設、緑が多くて魅力的な場所になるポテンシャルを感じる。特に柿木図書館は緑が多いので残して欲しい。	3
④落ち着て過ごせる場所の創出	利用者の個別のニーズに合わせた使い勝手を考える必要がある。	2
④落ち着いて過ごせる場所の創出	落ち着いてというより、だれもが気楽に気軽に利用しやすいオープンな要素が重要だ。	5
⑥子どもがのびのびと育つ	小学生（中高学年）と中高生の居場所の確保も必要だと思う。	5
⑥子どもがのびのびと育つ	子ども限定ではなく親子で過ごせる場所があると親子がのびのび育つ。 ”取組への期待”には「親」の要素も加えてほしい。	5
⑦高齢者の居場所の確保	高齢者だけでなくその家族も過ごせる居場所の確保を考えてほしい。	5
⑦高齢者の居場所の確保	スペースを身体状態にあわせてグラデーションでゾーニングするなど高齢者の多様な身体・心身に対応した居場所の確保が必要だ。	5
⑦高齢者の居場所の確保	高齢者の居場所といっても様々な視点があるので、どういうものが望まれているかを具体的に考えないと比較が難しいのではないかな。	5
⑦高齢者の居場所の確保	まず目指す地域の姿を考えてから施設の更新を考えるべきではないかな。	5
⑧地域のシンボル性や歴史の継承	日常的には利用しない人（学生や地域外で働く人）にとっても施設への愛着や、行きたいと思うきっかけになるから重要だと思う。	3
⑧地域のシンボル性や歴史の継承	元の施設の良さ（シンボル性、人の良さ）は活かしてほしい。	3
⑨土地・建物の有効利用	元の施設の良さ（シンボル性、人の良さ）は活かしてほしい。新しく建てるだけでなく、現状の建物の有効利用も考えてほしい。	3
⑩将来世代の負担軽減	区は「区民ニーズの変化」をどのように捉えているのか。	2
⑪追加したい項目	四宮区民集会所における町会の活動場所としての機能を維持するために、“取組への期待”に「地域活動の拠点の維持」を加えたい。	6

グループワーク② “取組への期待”を達成するための具体的なアイデア

◆複数の施設に関する意見

項目	意見	解決できると思う ”取組への期待”	グループ
配置	柿木図書館の場所でコミュニティふらっとと複合化しても、井草地域区民センターが近くにあるので、効果は薄いのでは。場所は駅近の方が使いやすいのではないかと。	③⑨	1
配置	コミュニティふらっとを整備する場合、井草地域区民センターと近すぎない方がよい。	③	1
配置	全ての施設を現在の場所で更新することが、地域のシンボル性や歴史の継承の観点から大きな意味がある。	③⑧	6
集約化	区民集会所とゆうゆう館を一体化（集約）することで、広いスリースペースを確保できる。	①⑨	1
集約化	区民集会所とゆうゆう館は、同じ目的になると思うので合併すると良い。利用の手続きが違うだけだと思う。	①②⑨	1
集約化	コミュニティフラットを整備する場合には、広いラウンジとフリースペースの確保をしてほしい。	①②⑥⑦⑨	2
集約化	ゆうゆう館と区民集会所は一つにし、コミュニティふらっとにしたらい。		2
集約化	ゆうゆう館とするか、コミュニティふらっとにするかは老人福祉法を考慮する必要がある。	⑦	2
集約化	施設の多機能化を進めてしまうことで一つ一つの機能が中途半端にならないように工夫をする必要がある。	①	
集約化	保育園を独立し、ゆうゆう館と区民集会所を集約することで、保育園のスペースを確保するとともに、集会施設の部屋数を増やすことができる。		6
複合化	図書館とコミュニティふらっと（ゆうゆう館＋区民集会所）の複合施設を現在の柿木図書館の場所に配置する。	①②⑨	1
複合化	施設を複合したら交流が生まれるというわけではないだろう。保育園とゆうゆう館の複合に関して、高齢者と子ども施設の併設は失敗した事例もある(桃井第五小学校)。	⑨	1
複合化	集会施設と図書館は、役割が異なるので、併設は馴染まないと思う。	①④	2
複合化	図書館とコミュニティふらっとを併設することで図書館の開館時間が伸びるとすれば、利用時間に幅が生まれると思う。		2
複合化	保育園、ゆうゆう館、集会所は建物内でエリアを分け、入り口やラウンジを共有とする。世代を超えた交流も大事であるが、世代毎に集まることでの安心感も尊重できると良い。	①②④⑤	3
複合化	図書館の利用者が会議をしたり、自由に利用できる場所があると良いので、図書館と集会施設を一体化してはどうか。	①④⑨	5
複合化	保育園に誰もが利用できる集会室を併設する。		5
複合化	今ある施設をひとつの場所にまとめたほうが、施設運営が効率的だ。	⑨	5
複合化	保育園を1階に、2、3階をコミュニティふらっととして整備する。コミュニティふらっとには、これまでの活動を継続できるよう、区民集会所とゆうゆう館の部屋数を確保する。		6
複合化	区民集会所とゆうゆう館を同じ建物内に併設した上で、双方の利用者が使えるフリースペースを設けることで、利用時間帯が異なる中での有効活用、広いスペースの確保が図れる。		6
機能	できればどの施設も震災時に活用できるものとなっていると良い。	⑤	1
機能	バリアフリー化された施設の整備が必要だ。		2
機能	集会施設には、アルコールを含む、飲食可能なカフェがあるとよい。		2
機能	集会施設には、子どもがゲームをできる部屋を設ける。		2
機能	集会施設には、子どもが勉強できる部屋を設ける。	①⑥	2
機能	集会施設には、音楽スタジオを設ける。	②	2
機能	集会施設や図書館を更新する際は近隣にある児童館との差別化、明確化を図る必要がある。	⑥	2
機能	「誰にとっても使いやすい」、「落ち着いて過ごせる」、「交流が生まれる」この3つは矛盾する点もある。開放的かつパーソナルスペースの確保ができる空間になると良い。	①②④	3
機能	駅から離れていたり、住宅地の奥まった場所だったとしても、案内板やアプリを活用するなどして、道路から入りやすい施設計画。		5
機能	小さな公園や道路標識などと連携し、案内板を設置。		5
機能	各施設にリアルタイムで混雑状況がわかる、学習もできる多目的スペースを設ける。		5
機能	コミュニティふらっとには、合唱や楽器練習などができる防音の部屋を設ける。		5
機能	各施設の用途と利用方法を次のように整理する。 ・集会室：グループ活動をメインの交流と学習の場 ・図書館：個人活動をメインの学習の場 ・ゆうゆう館：グループで活動する交流の場 ・保育園：グループで活動する学習と交流の場		5

機能	離れた場所でも情報共有でき、オンラインで施設間も含めて利用者をつなげて事業展開できる設備を整備。		5
機能	個人用と多人数のスペースを大小さまざま整備する。		5
機能	全施設に多目的に使える防音機能のある部屋を設ける。		5
機能	雨・寒さ・暑さから守られた屋内で安心して児童が過ごせる居場所を確保してほしい。	④	5
機能	公道では制約がありできない運動や遊び（ローラースケートやスケートボードなど）ができるのスペースの確保。	④	5
機能	単純に多目的というより、条件や状況に応じて様々なニーズに対応できるフレキシブルなスペースとする。	⑨	5
機能	利用する人数の変化に対応できる構造（可動式の壁や取り壊しできる壁の設置など）の施設にする。	⑨	5
機能	施設の混雑状況が見れるシステムがあると建物の有効活用につながる。	⑨	
機能	図書館や集会施設は、多くの人が快適に利用できるようにゾーニングをできるような造りにする。同時にオープンスペースも充実させ、多世代交流もできるようにする。		6
機能	杉並区は住宅が密集しており、火災の延焼被害が広がる可能性が高い。そのような、地域の特徴的災害を踏まえた施設をつくる。	⑤	6
ソフト	施設の運営を指定管理とする場合には、運営ルールの見直しが必要だろう。		2
ソフト	更新される施設（図書館、コミュニティふらっと）の運営は同一事業者が担うことで、相乗効果が出ると思う。	①②⑥⑦	2
ソフト	更新される施設の空き状況の共有化を図る必要がある。		2
ソフト	施設で開催されるイベント情報が広く伝わる工夫が欲しい。	②	2
ソフト	各施設が連携し、図書館以外の施設にも図書の貸出返却機能や学習スペースを設けるなど用途に合ったブースやテーブルなどの設えを工夫する。		5
ソフト	Wi-Fi設置（ロビーだけでなく集会室の中でも使えると良い）。		5
ソフト	認知症の方やその家族が相談や集会をする居場所となるような認知症カフェを整備。		5
ソフト	音に配慮したルール作り。		5
その他・不明	四宮地域にはカフェが少ないので、カフェ的な場所ができると良い。	②④	1
その他・不明	4つの施設の合併、改築を考えるとのことだが、建ぺい率の限度があると教えて頂いたので、そういう制限を踏まえるとなるとアイデアを出すのが難しい。		1
その他・不明	将来の社会状況によって、他の用途にも転用できる施設を整備するべきではないか。	⑨⑩	2
その他・不明	図書館或いは新たな集会施設の整備により柿木エリアの新たなシンボルを作れるとよい。		2
その他・不明	保育園、ゆうゆう館、区民集会所は一体的に整備するのが良い。子育て世代は畳スペースあると良い。互いの行き来がしやすいと良い。バリアフリートイレを集約できるとよい。（参考：春日台センターセンター）	①②⑨⑩	3
その他・不明	ゆうゆう館、コミュニティふらっとは、区民への周知不足が気になる。広報でアピールしつつ理解深めるようなイベントやプロモーションがあると良い。ゆうゆう館利用者は、コミふらがあることを知らない人が多いため、コミふらについて周知を行った方が良いかも。コミふらに行くための目的やきっかけがあると利用者が増えると思う。	⑦⑨	3
その他・不明	隣接し合うゆうゆう館と区民集会所を同じ建物に一体化できると良いと考えるが、建物の構造を変えることが難しければ、今の建物に連絡通路を設けて行き来できるようにするのも良いのではないかな。		
その他・不明	集会所やゆうゆう館は、奥まわっていてわかりづらいので、立地と外観を工夫するほか案内板を設置するなどわかりやすい案内をする。	①	5
その他・不明	いずれの施設についても、①震災時等発災から3日間分の水、トイレ、食料を備蓄するための部屋、②防火用水の容量を大きくとること、③非常用電源を確保すること		6

◆柿木図書館に関する意見

項目	意見	解決できると思う ”取組への期待”	グループ
配置	現在の位置で改築するのがよい。	③⑧	2
配置	今の立地は良い環境にあるので、現在の場所で更新してほしい。		2
配置	現在の位置で改築するのがベター。駐輪場の位置は東側の樹木がある所ではない方が視認性がUPするのではないか。	⑨	3
配置	柿木は今の場所で建て直してほしい。図書館が小学校に近いので、子どもが立ち寄りやすくてよい。	⑨	3
集約化	敷地が狭く、また他の施設とは目的が異なるので、図書館に他の機能を集約するのは望ましくない。		2
複合化	子ども用の図書館と保育園を併設する。今の子どもスペースを拡大させたような図書館を保育園に併設してはどうか。	⑥⑨	1
機能	できるだけシンプルな構造にして、リフォームで使用用途の変更がしやすいようにする。	①⑨⑩	1
機能	図書館に多機能性を持たせる。本を読んだり勉強をしたりするだけではなく、イベントを行ったり交流したりできるスペースもあると良い。	②	1
機能	大磯町立図書館のように子ども用の広い図書スペース（靴を脱いで上がれる、明るい）があると良い。	①④⑥⑨	1
機能	電子図書を導入して、若者の利用者を増やしていけば良いのでは。若者に特化した図書館が良い。	①⑩	1
機能	勉強や作業用のスペースを設置できるとよい。	①④⑨⑩	1
機能	現状の書籍や資料を有効に活用できる書架の配置や閲覧スペースの拡充が必要だ。		2
機能	学びの場として図書館は落ち着いたスペースも重視して欲しい。	⑧	2
機能	図書館は、利用者が「くつろげる」場でもあるため、開放感や部屋のしつらえに連続性が必要だ。	⑧	2
機能	本を読む機能だけでなく、気軽に利用できるコーナーが1階あると良い。		2
機能	いずれの地域図書館でも、資料が充実し、読書のためだけの図書館でなく、調べ、学ぶ空間であるべき。	④	2
機能	元の図書館のファサード、サイン、植栽など、良いものは残してほしい。		
機能	図書館の自習スペースは拡充して欲しい。		3
機能	図書館の緑、樹木を残して生かすことにあたり、中央図書館の自習スペースの採光、彩色が評判が良いので参考にしようか。		3
機能	屋内と屋外をつなげて利用できる屋外スペースを設置。		5
機能	タイムシェアではなく年代別に限定利用出来るスペースを設置する。		5
機能	カフェがほしい。		5
機能	蔵書のデジタルアーカイブ化や中央図書館で集中的に収集し、地域館では閲覧スペースを確保する。		5
機能	外観をそのままに中をリノベーションして、子どもたちの居場所、ゆっくり読書する場所、勉強する人の場所を分ける。		6
機能	外観の美しさ、子どもが安心して自由に読書できることなど、今の良さを継承してほしい。		6
機能	図書館に多目的室を設けて、地域の人が交流できる空間があるといい。		6
機能	図書館で落ち着いて、静かに過ごしたい人もいれば、子どもを連れて、遊ばせながら利用したい人もいる。お互いに気持ちよく利用できるよう、心理的安全性の確保が必要だ。	①④⑤⑥	6
機能	地域の集会所的な役割があると、地域の交流が生まれる。	②	6
ソフト	現在は子ども向けがメインなので、大人が楽しめて人のつながりができるようなイベントがあると良い。	①②	1
ソフト	本に限らず、知識や文化をテーマにしたイベントを企画してほしい。本好きがつながることができる。	①②	1
ソフト	読み聞かせは続けてほしい。	②⑧	1
ソフト	外国語書籍を増やして欲しい。		2
ソフト	児童館への図書貸し出しを強化するとともに、男女平等推進センターの図書の貸し出しを可能として欲しい。		2
その他・不明	紙の本を借りるということを、今後長い目で見てどの程度維持していくべきなのか。 将来、別の機能に転用できるような施設の設計にしておくといい。転用するとしても、元は図書館であったという知識・文化的な背景は残した方が良い。本という媒体でなくなってもそれを継承していきたい。	⑧	1
その他・不明	小さい子どもに対しては、最初はタブレットの教育ではなく、絵本などの紙の教育が必要だと思う。	⑥	1
その他・不明	図書館の文化的価値、知識に触れる、学びの場としての文化的な役割を区はどう思っているのか。	⑧	2
その他・不明	図書館は現在の建物（特徴的なトラス造の庇や、レトロな外壁のサイン）、緑を活かして欲しい。外観にわかりやすい特徴があると、その施設があることが遠くからわかってよい。	③⑧⑨⑩	3
その他・不明	図書館は部分的にでも良いので、外部の入り口周りや、赤っぽいインターロッキングのレトロな感じのデザインが残って欲しい。もしくは継承して欲しい。	⑧	3
その他・不明	各施設の連携が大切。図書館のサテライト（区立施設への出張図書館等）をつくるのもありなのでは。子どものための絵本や、倉庫にしまっている本などが、他の区立施設でも活用できると良い。		

その他・不明	図書館の本の一部をサテライト（移動図書館）で持っていくことで、空いた空間に閲覧スペースを設けることができ、落ち着いて本を読める空間、明るい空間を作れるのでは。	④⑨	3
その他・不明	図書館の南面や東面はテラスの閲覧スペースや、カウンターの自習スペース等にとすると、図書への日射の影響を抑えながら、明るい空間になるのでは。	①③⑨	3
その他・不明	図書館の地下も明るい空間にして、南面の緑を活かして欲しい。	⑨	3
その他・不明	敷地内に消防団の小屋がある。台風などの際は、狭い小屋で消防団が待機しているので、図書館の建物とつなげ、一部一体化するなどして、災害時に消防団の待機場所としても使えるとよい。	⑤	6
その他・不明	建物周囲に蚊が多いので、蚊の対策を十分にしてほしい。		6

◆四宮保育園に関する意見

項目	意見	解決できると思う ”取組への期待”	グループ
配置	保育園は単独で大きく建てた方が安全面やセキュリティの観点から良いと思う。	⑤⑥	1
配置	保育園のスペースを確保するために、ゆうゆう館を移転する。		6
機能	園庭に日よけを設置する。		5
機能	園庭に多目的に遊べるように区切られた小さなスペース設置する。		5
機能	ホールや園庭などのスペースを十分に確保できると良い。	⑥	5
機能	保育園の運動会は歳児ごとに行っていて、寂しい印象を受けた。園庭を十分に確保できると良い。		6
その他・不明	工事中も保育園が支障なく利用できることが大切、それを踏まえた更新計画を立てることが重要だ。		2
その他・不明	保育園の利用者が、継続して通えるような形の望ましいので、一時移転が必要だと思う。		2

◆ゆうゆう四宮館に関する意見

項目	意見	解決できると思う ”取組への期待”	グループ
配置	ゆうゆう館が2階で1階が保育園なので、2階から子どもたちの様子が見えたり、給食の香りなど、昔の自分を懐かしめるので今の配置は良いと思う。	④⑦⑨	1
ソフト	ゆうゆう四宮館の受付の方は優しくて良い方ばかりなので、コミュニティふらっとに変わったとしても引き続き受付を続けてほしい。	④⑦	1
ソフト	現在のゆうゆう館で見られる利用者と職員の親しい関係性を残すことが大事。	④⑦	2
ソフト	ライフデザインを支援・推進する取り組みとして、有料のワークショップ（ビジネス利用）ができるようにする。		5
ソフト	誰にとっても使いやすい場所ではあるが、どうしても女性中心のプログラムが多く、男性が入りにくい。	①⑦	6
その他・不明	ゆうゆう館と区民集会所に共通する活動を整理できると良い。		2
その他・不明	地域行事に住民、区職員、施設管理の受託者が合同で（一緒に）従事することが大事だ。		2
その他・不明	ゆうゆう館は高齢者だけが利用できる施設ではなく誰もが利用できる施設にする。 ふらっと来れる場所であることを明確に示す必要がある		5
その他・不明	建てかえ時の代替の場所を考えておく必要がある。特に高齢者は環境が変わるなどして、一度活動が途切れると、そのあと続けることが難しくなる。		6

◆四宮区民集会所に関する意見

項目	意見	解決できると思う ”取組への期待”	グループ
集約化	区民集会所のロビーは、ゲームなどして過ごす場所になっている。集会所とゆうゆう館が一つの建物になった場合、子どもと高齢者共存による安全確保の心配はあるが、緩やかな区分けの中で、交流が生まれ、子どもにとっても高齢者との接し方などを学ぶ場にもなる。		6
複合化	隣接の梅林を公有化し、2階建てのコミュニティふらっと保育園を併設する。		5
機能	区民集会所には、グループでなくても個人で気軽に利用できるエリアがあると良い。	①②④	1
機能	広い集会室を設けるにあたり、パーティション方式で区切って複数の部屋として使用できるようにしてはどうか。大人数でも少人数でも使用でき、使い勝手がよくなるのでは。井草地域区民センターの1、2集会室が参考になる。	⑨	3
機能	区民集会所に飲食が可能なスペースを整備することが、地域の人々が集い交流することに大きく寄与すると考える。	②	6
ソフト	民間施設を中高生が利用する場合、カラオケボックスなど閉ざされた場所が多くリスクが高い。中高生が自分で予約して使えて、人目が届く安全で安心な多目的なスペースを設置。		5
ソフト	区民集会所、ゆうゆう館など集会施設の利用形態はなるべくシンプルにしてほしい。使い方が分かりにくいと、結局使わなくなってしまう。		6
ソフト	コミュニティふらっととして整備する場合、現在の利用者に不便が生じないよう、優先枠を効果的に活用すると同時に、自由枠を一定程度確保してほしい。		6
その他・不明	ゆうゆう館と区民集会所に共通する活動を整理できると良い。		2
その他・不明	地域行事に住民、区職員、施設管理の受託者が合同で（一緒に）従事することが大事だ。		2
その他・不明	利用者を増やす工夫が必要。そのために利用状況の分析を行う必要がある。		2
その他・不明	コロナ後に区民集会所のお祭りの参加者が少なくなったように感じる。参加者を増やすために周知を工夫する必要があると思う。	②	3

◆その他

項目	意見	解決できると思う ”取組への期待”	グループ
複合化	保育園は上井草二丁目にある区の農地に仮設を立てて運営し、その間に保育園、区民集会所、ゆうゆう館の複合施設の建設を行ってはどうか。		2
機能	各施設に屋外のスペースが少しあると、防災や交流などの目的に使用できる。	②⑤	3
ソフト	多目的の中に文化活動につながるオンライン利用も視野に入れてほしい。		5
ソフト	区民のライフデザインを推進するような有料のセミナーやワークショップ等の開催が可能な運用にしてほしい。		5
ソフト	餅つき、歴史など地域の特徴的、慣習的なイベントを継承できるようなヒアリングをして、残してほしい。	⑧	6
その他・不明	過去の他の図書館の建て替えの経緯や代替地などについてわかる情報や参考資料はないのだろうか。		1
その他・不明	建て替えの際には保育園等代替りの土地が確保されるのか。		1
その他・不明	四宮区民集会所は、ゆうゆう館・保育園と併せて更新しないと改築は難しいのか。		2
その他・不明	柿木図書館及び周辺施設の更新等の考え方は、他の区立施設の更新の考え方と同じなのか。		2
その他・不明	更新の際、保育園以外は休館とするのか。		2
その他・不明	各施設の共通として、一角（少し）で良いので靴を脱いで利用できるスペースが欲しい。日本人ならではの、開放的な気持ちやリラックスにより、交流が生まれるのでは。	②⑨	3
その他・不明	和室（畳の部屋）の利用率が低いのは、部屋が作りこまれているので、使用用途のイメージが先行し、利用しづらくなっているのでは。	⑨	3
その他・不明	「区民集会所が路地上敷地にあるため、現地改築できない」とあるが、区民集会所隣接の梅林の土地は、将来的に区に譲渡してもらうことはできないのか。敷地面積が増えれば建替えプランも変わってくるかと思う。		3
その他・不明	建設費の高騰で、計画の見直しや、着工の見送りの可能性はあるのか？		3
その他・不明	外装の塗装や内装のリフォームだけでもかなり印象が変わると思う。建設費の高騰など時代に合わせ、フレキシブルに対応してもらえると良い。建て替えではなく、建物はそのまま使ってリフォームすることも考えてはどうか。		3
その他・不明	地域の畑などを営む農家と連携し農業体験等ができる施設づくりや農産物の展示を展開する。		5
その他・不明	施設整備にあたっては、近隣の私有地の緑地と連携して誰もが利用できると良い。		5
その他・不明	小規模な防災拠点を増設し、防災機能の向上を図る。		5